



コンサートを盛り上げた合唱団全員で記念写真 Photo by KATUO SHOMURA

設立五周年記念コンサートを終えて

支部長 粕谷彌太郎 (昭28政経)

お陰さまで本年度の設立五周年記念行事のメインであるコンサートは平成二十八年十一月十九日(土)清瀬けやきホールを満席にて盛況裡に完了することができました。実行委員の皆さま本当にありがとうございました。

出演をお願いした明大グリーククラブOB会合唱団駿河台倶楽部、明大グリーククラブ、清瀬第九合唱団、清瀬第十小学校合唱団「Stella」の皆さまの心のもった歌声を精一杯お聞かせいただき、また指揮をとられた先生方、司会をされた方々それぞれのお気持ちがお場に伝わりました。素晴らしい雰囲気が出されお客さまも大満足いただけようです。また、後援していただいた清瀬市、教育委員会、舞台裏を支えてくださったけやきホールの皆さま、そして多摩支部長をはじめ各地域支部の皆さまのご支援、協力をいただきました。坂田教育長からは心温まるご挨拶状をいただき、また、回収率五十%のアンケートにはお褒めの言葉が一杯つまっております。今後の校友会活動のエネルギーとして受け止め地域活動を更に充実してまいります。

さて、こうした成功を収めた原動力は何処にあったのでしょうか。一年前の役員会で五周年に何かイベントをやりたい。地域の皆さまにどう受け止めていただけるか討論を重ね、設立五年を記念し、感謝するコンサートに辿り着いたものでした。実行委員会を作りイベントの計画を練っていただいたものです。役員全員も呼応し、一年かけて完成に至りました。目に見えないご苦労もあつたと思いますが、女性会員のご協力が得られるきっかけともなりました。特に、グリーククラブ誘致に綿密な計画とお話を進めてくださった粕川幹事には感謝状を贈らせていただきました。

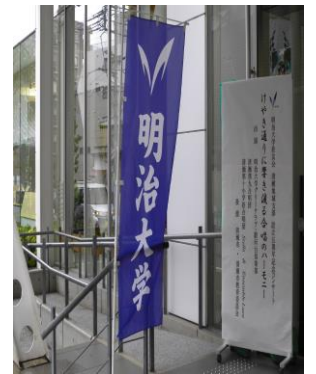
これぞ明治は一つを実現したことで十周年に向けての布石にもなったと思います。



準備万端



開場前の朝礼



雨模様でした



粕谷支部長開会あいさつ



満員のお客様



いよいよ入場受付



清瀬第九合唱団「大地讃頌」



駿河台倶楽部「三崎のうた」



グリークラブ「校歌」



渋谷市長 坂田教育長



グリークラブ・駿河台倶楽部合同
「歌に憧れて」



清瀬第十小学校「青いうた白いうた」



会場の皆様と「ふるさと」の大合唱



十小の生徒さんから花束贈呈



中村実行委員長の乾杯！



皆様お疲れ様でした



打上げ名司会 柘谷さん



グリークラブ 関口主将



第十小学校 上田先生



第九合唱団 三村先生



駿河台倶楽部
今野団長



鳥取中部地震募金箱に・・・



「あけぼの」心を込めたお稲荷さん、オードブルも大人気



全員肩を組んで オーオ明治！その名ぞ我らが母校！

特別寄稿

「素晴らしいコンサートありがとう」

清瀬市教育長 坂田 篤 様

素晴らしい演奏会をプレゼントいただき心から感謝します。また、このような場に本市第十小学校の子供たちの出演の機会をいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

一音楽を専攻してきた私にとって、今日の演奏会は音楽の原点を再度思い出させてくれるものでした。男性合唱の重厚な響きはもとより、何よりも音楽を心から楽しんでいらつしやるメンバーの方々の表情は「音を「楽しむ」音楽そのものです。特に明大グリーの十八番である「歌に憧れて」は感動しました。この歌詞のとおりです。

私も自分自身に置き換えて自身の音楽の歩みを振り返ることができました。音楽は素晴らしい。こんな当たり前のことを日常の雑踏の中で忘れてしまいがちになっている自分が情けなくなり涙が出ました。

ご存知の通り、私は元中学校の音楽教師です。十五年間の教師生活で音楽の持つ偉大な力に出会ったことがあります。それは三年生を担任し、京都、奈良に修学旅行の引率に行った時のことでした。

最終日、京都から東京に向かう新幹線が事故で遅れ、ホームで待ちぼうけを食っていました。その時、私の教え子の一人が「先生、大地讃頌を歌おうよ！」といってきたのです。「おいおい、ここは公共の場なんだからまずいぞ」と止めたのですが、一人が歌いだしてしまつたらもう止まりません。駅員が注意に来ましたが学年全員で京都駅で大合唱が始まってしまいました。

その時、ホームの反対側から同じ大地讃頌が響いてきました。下り電車を待っていた中学生たちでした。京都駅は大地讃頌の大合唱で包まれました。お客さんたちは拍手喝采です。歌い終わったちようどその時、下り電車が

が入ってきて感動のひと時が終わりました。後で調べてみたところ、福岡の中学生だったとのこと。そこから文通や作品交流が始まり今でも続いているそうです。

音楽は見ず知らずの人でもあつという間に仲良くなれる「人と人との接着剤」です。今回も最後に「故郷」の大合唱がありました。偶然ゲヤキホールに集つた人たちの心と心がつながりました。素晴らしいことと思います。こんな素敵な演奏会は久しぶりでした。第十小の子供たちも、本市第九を歌う会の皆さんも素敵だった。この演奏会にかかわられたすべての方々に、そして何よりも本演奏会を企画運営いただいた実行委員会の皆さんに心からの御礼を申し上げます。

(特別寄稿は佐藤実行委員が坂田様からいただいたメールです。坂田様にご了解をいただき掲載しました。)

コンサートを終えて

齋藤千代子(昭37法)

土曜日の午後、清瀬けやきホールに合唱のハーモニーが響き渡りました。会場いっぱい集つてくださった市民の皆さまも、きつと満足の時をすごされ、お帰りになられたと思います。

清瀬第十小学校合唱団の児童の伸びやかな素晴らしい歌声はまさに天使の声でした。

経験をつまめた清瀬第九合唱団は重厚な混声コーラスを披露されました。

明大のグリークラブと同OB駿河台倶楽部の力強い男性コーラスは一段とホールに響きわたりました。男性コーラスになじみのない方も魅力を見つけてくださったでしょう。

特に第五ステージでの司会の絶妙さには会場からほほえましい笑い声があり、曲や指導者にあつためて視線がそそがれました。

今回のコンサートの成功には、実行委員会のあふれる

熱意と努力とチームワークの支えがありました。

このような企画が一回で終りでは残念です。今度はいつですかと言われるように、清瀬の文化活動の一翼をにない、地域貢献に繋がるようにと希望しています。

ステージマネージャーとしてのコンサート

粕川 偉三男 (昭48政経)

松川君のタクトが下され、井上さんのピアノ伴奏。

二百名の出演者と会場のお客様五百名の「故郷」の合唱が始まった。七百名に上る合唱は、一糸乱れず、コンサート之余韻を染しむ顔、顔、顔。

ほんの数分の合唱でしたが、様々な想いが駆け巡っていききました。チケットは売れるのだろうか、会場にお客さんが来てくれるのだろうか、天気は大丈夫だろうか、怪我人は出ないだろうか・・・正に試行錯誤の連続でしたが、全て杞憂に終わったのでしょうか。

記憶に残るコンサートになったのでしょうか。

音楽の持つ底知れない力を強く感じた一瞬でした。正に老若男女の歌の力は勇気を与えてくれました。快く賛助出演していただいた、第九合唱団様、第十小学校様として、先生方ピアニストの方々、小学生、中学生のご父兄の方々、更に母校グリークラブ、OB会合唱団。皆様には言葉には表現できないほどの感謝の気持ちで一杯です。ご支援を賜った清瀬市長、清瀬市教育長はじめ関係者の皆様にはこの紙面を借りて改めて感謝申し上げます。櫻通りに合唱のハーモニーが駆け巡ったと感じたのは私だけでしょいか。そして、足元が悪い中、会場まで足を運んでいただき、最後までお聞きいただいたお客様には本当に感謝の気持ちで一杯です。聞き慣れない曲も沢山あったとは思いますが、出演者も満員のお客様を前にして、気持ち良く歌えたと確信しています。

校友会の皆様の献身的な対応は多くのお客様に感動を与えました。演奏会を聞き慣れた方々が、こんなに心温

まる対応をされるコンサートは経験した事が無いと口を揃えていました。受付、接待、会場案内、アナウンスと校友会、家族の皆様には改めて熱く御礼申し上げます。夢の実現は叶いました。感謝！

繰上るまで四百日奮闘記

中村 曠 (昭36政経)

平成二十七年総会後の六月定例懇談会で翌年度に迫った設立五周年記念事業の検討が始まった。他支部イベントなど参考に検討した結果、マンドリン倶楽部とグリークラブによるコンサート開催が議題上がった。マンドリン倶楽部は浅井会員、グリークラブはグリークラブOBの粕川会員に調査を依頼することになった。次の懇談会でグリークラブOB会に諮った結果、演奏会実現への賛同・協力が得られた旨報告があり、企画書が提出された。この日からこの企画書を基に検討が進み、記念事業具体化の動きが始まった。定例懇談会で実行委員会の設置、メンバーは粕川以外九名、最年長の中村が委員長、副委員長に齋藤副幹事が推された。

早速、メンバーの丸山が会場「けやきホール」の開催可能日を調査、開催日平成二十八年十一月十九日(土)を仮予約した。予約金は粕谷支部長から支度金の提供を受け対処した。

第一回実行委員会は十一月十五日(日)アミュー六階会議室で開催。齋藤副委員長から開催までの準備工程表、粕川から開催確認事項の提案に基づき、コンサートのイメージとなる名称の検討がなされた。趣旨は『設立五周年記念コンサートにより多くの清瀬市内外の人々をお迎えし、合唱音楽の楽しみと感動を伝え、併せて清瀬地域支部設立五周年の祝賀と感謝を伝える。』であった。そしてコンサートタイトル『けやき通りに響き渡る合唱のハーモニー』が誕生した。一方、佐藤は後援の依頼に訪れた坂田教育長の助言から賛助出演団体として清瀬第

十小学校が、また大山恭子会員の紹介により市民合唱団として実績ある第九合唱団の出演が決まった。実行委員会には和田幹事長も加わり、原則毎月一回開催し、開演まで十五回の委員会が開催された。メール、ファックスを使った意見交換が積極的に行われた。現役仕事を持つ粕川は職場からメールで参加した。意見を出し合い、徹底的に検討し合った。全てが成功のためであった。

十一月に入り、けやきホールの舞台監督と打合せ、舞台、楽屋、客席の説明を受け見学した。グリークラブ、駿河台倶楽部、第十小学校上田先生の出席を得て行った。また、直前に同ホールで催された「石田波郷俳句大会」には役員全員が参加、受付フロア、客席等を見学、運営の雰囲気を経験した。佐藤は当日運営の必需品目表、受付係配置図、客席誘導図など作成。粕川は演出タイムテーブル、楽屋の割付表を作成、齋藤は看板デザインと作成にあたった。丸山は会計担当としてチケット販売状況を的確に把握、予算の執行状況を適正に管理したほか昼食、終演後の打上げ用飲食の手配にもあたった。チケットは十一月早々に完売となった。当日の運営要員には齋藤千代子氏はじめ会員、会員家族からボランティア申出があり、当日の役割分担が決定、全役員、会員、会員家族による総力体制が出来上がったのだ。

コンサート前日の十一月十八日午後、全員が活動センターに集結、プログラム配布準備、事務用備品等の確認後、ホール内ロッカーに搬入完了した。ただ当日の天気と来場者数が心配、傘立ては万全か、来場者の誘導に不安が残った。

当日朝から雨模様、開場間際には薄日も見えてきた。スタッフ朝礼では「笑顔で迎え、笑顔でお送りしよう」と全員申し合わせた。スタッフ各自持ち場にスタンバイ。昼過ぎ、早くもお客様が会場受付前に並び始めた。ホールではリハーサル真っ最中、早めの終了を待って、予定時間を繰り上げ入場受付開始、笑顔でお迎えるスタッフ、会場を案内するスタッフ、空き席を確認案内するスタッフ、一生懸命だ。粕谷支部長の素晴らしい挨拶のあ

と、緞帳が上がり「明大校歌」がホールに響きわたった。舞台裏では粕川がタイムテーブルに沿ってさい配する。順調に進みエンディングは出演者全員による「故郷」指揮とピアノ伴奏は第十小学校の生徒さんが担当した。グリーのみなさんは客席に降り、ご来場のお客様と大合唱「故郷」は感動的であった。拍手喝さいが絶えないなか幕が下りた。笑顔でお送りするスタッフ、お客さまも笑顔で満ち満ちていた。時間通りに終演となったコンサート。タイムテーブルに沿った完璧な演出だった。やがてホールは静まり、出演者、スタッフがセミナーハウスに集まった。「あけぼの」のみなさんの心のもったオードブル、料理に賑わった。来場者のリクエストでグリーの明大校歌がけやきホールに響きわたり肩を組み唄った。「明治は一つ」素人集団、初体験の手作りコンサートは四百日間に亘って、ご支援ご協力いただいた全ての皆様に感謝し、成功裡、無事幕が下りた。(氏名敬称略)

アンケート集計

アンケートの回収は入場者約五百名中二四〇通、回収率は約五十%でした。

質問編

質問一、本日の演奏会を何で知りましたか？

- | | |
|---------|-----------|
| 校友会 | 四一 (一七%) |
| 市報 | 七 (三%) |
| ポスター | 三 (一%) |
| 友人、知人から | 一四五 (六二%) |
| その他 | 四四 (一八%) |
- 質問二、印象に残ったステージは？(複数回答可)
- | | |
|---------|-----|
| ①校歌 | 六四 |
| ②駿河台倶楽部 | 六七 |
| ③第九合唱団 | 八二 |
| ④グリークラブ | 一〇三 |
| ⑤第十小学校 | 一七一 |

ご意見とご感想(抜粋)

- ⑥グリー・駿河台倶楽部 一七七
⑦合同演奏 七五
- ① 卒業後五十年以上たちますが、懐かしい校歌に感激しました。合同ステージ力強く素晴らしかった。ご活躍を祈ります。
 - ② 第十小の未来に栄光あれ！全ステージ素晴らしかったです。司会、進行も素晴らしかったです。
 - ③ どのクラブの方も合唱を楽しんでおられる感じが感じられ、こちらも幸せをいただいた気持ちです。
 - ④ 肉声の素晴らしさに圧倒された。楽しかった。心が洗われた。グリークラブの木村君がっこイイ、全部素晴らしかった。是非また聞かせていただきたいと思えます。男声合唱っていいですね。
 - ⑤ あたたかい雰囲気の良いコンサート、出演者の音楽への愛が伝わり聞きこたえがあった。
 - ⑥ 第五ステージOBの人たち羨ましい、何時までも元気でまた清瀬に来てください。子供たちのきれいな歌声上手でした。
 - ⑦ 聴いたことのない音楽もありましたが、聞いて気持ちよくなりました。指揮者の手の動きが見えていて楽しかった。
 - ⑧ 素晴らしい企画、合唱の楽しさ面白さを体験しました。それぞれの合唱団も個性があり、益々の活躍を祈念いたします。
 - ⑨ ひと足早いクリスマスプレゼントとして受けさせていただきました。ブラボー！
 - ⑩ 男性のみの合唱、初めてでしたがとても素敵でした。子供たちとのコラボが良かった。また是非企画してください。
 - ⑪ どの団体も素晴らしかった。ステキな時間を有難う。来年もその次も毎年やってほしいです。
 - ⑫ ご苦労様でした。小学生が良かった。地域社会に溶け込み良いコンサートだった。
 - ⑬ 十代から？代まで幅広い調和音全身清められました。

- ⑮ 協力、愛、そして平和の時間を有難う！
曲の途中での入退場が何人かいた。ビデオ撮影をしている方がいた。合同演奏、司会者が良かった。

清瀬地域支部の情報は

- 一、会報(MEJJI NEWS)
春秋の年二回発行、会員に配布します。
- 二、校友会多摩支部ホームページ
<http://www.mejji-tama.net/kiyoser-top.html>
- 多摩支部・各地域支部の情報掲載。地域支部の活動がわかります。
- 三、ブログ(紫紺ネット)
http://blog.goo.ne.jp/tuyosi1940_001

四、清瀬紫紺ネットメール

会員間の連絡手段として利用されています。
参加者はメールアドレスの登録が必要です。

編集後記

- 五周年記念コンサート特集号です。
- 特別寄稿は坂田教育長様から頂いたメール文を二了解を得て掲載しました。
- 掲載写真は庄村勝男様をお願いして撮影したものです。(N)